



富士時報

FUJI ELECTRIC JOURNAL

目 次

東北電力・第二鹿瀬発電所向け 58,500 kW カブラン水車	180 (2)
日本国有鉄道・新日本橋駅の配電用交流電源装置	185 (7)
交流クレーンの同期運転制御	195 (17)
船用主タービン遠隔操縦装置	203 (25)
最近のトランジスタ式保護リレー (その3)	211 (33)
✓ 高感度 InSb ホール素子	224 (46)
配電盤器具配置図の自動設計	230 (52)
✓ 低温下における金属材料の機械的破壊挙動の評価について	235 (57)
原子力: AGRの計算機制御	246 (68)
最近のドイツ技術	253 (75)
完成品ニュース	260 (82)

VOL. 46 NO. 2 **1973**

第46巻 第2号 昭和48年

2

将来技術を開拓する……

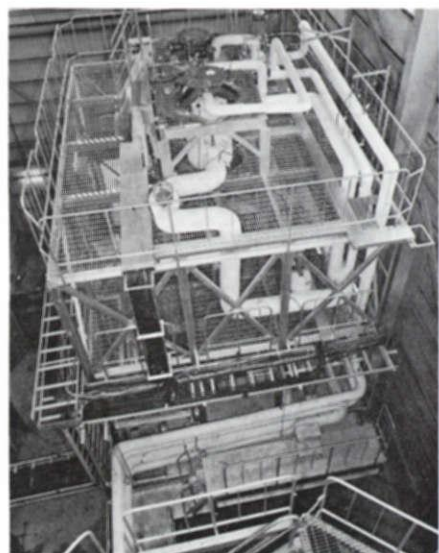
中央研究所は総合電機メーカー富士電機の研究開発部門の中心として、明日の技術を担うための基礎とその応用研究をおし進め、「将来技術」を開拓する大きな使命を果たしています。このため、電気・電子・物理・化学・金属・高分子・機械・制御など各方面の有能な研究者、技術者を集め、エレクトロニクス・原子力・超電導・高電圧・計測・材料などの諸分野の先端技術の開拓に日夜努力しています。

また、技術部門、工場との密接な連携はもちろん、関係会社、国内外の研究機関と積極的な技術交流を行ない、製品の開発、最新技術の育成に努めています。

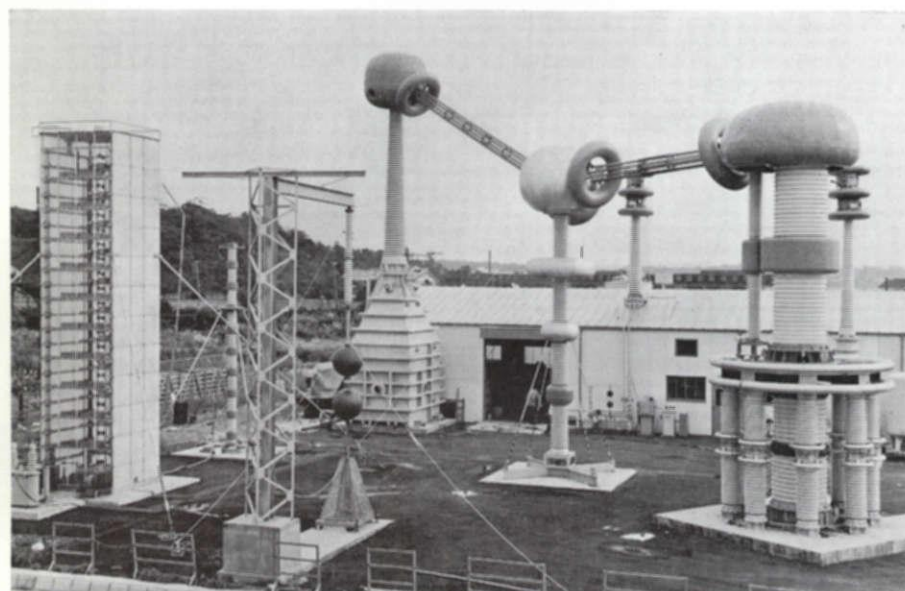
燃料電池、超超高压変圧器、オゾン発生装置、冷凍融解スラッジ処理装置、“夢の原子炉”用各種装置などは中央研究所の開発した製品の例です。



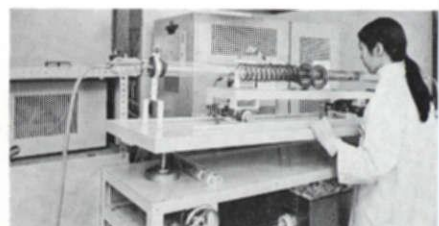
中央研究所



液体ナトリウムテストループ



超超高压研究設備



金属間化合物半導体の研究



リニアモーターカーの直線走行実影



*本誌に記載されている会社名および製品名は、それぞれの会社が所有する
商標または登録商標である場合があります。